

平成 22 年度 日本獣医がん学会 第 1 回 理事会・評議会合同会議 議事録

日時：2010 年 7 月 11 日（日）12:40～13:20

場所：麻布大学 8 号館 6 階 8604 講義室

司会：信田卓男会長

参加者：会長 1 名，副会長 3 名，その他 56 名

稟議した内容は以下に記し，その概要を転記した。（敬称略）

議題：

【報告事項】

・会則 16 条 17 条に則り，年 2 回の理事会・定例評議会をおこなう : 会長

今回は学会の時間配分がタイトなため，理事会・定例評議会合同で行う。

・執行部からのお詫び : 会長

今回の学会では，時間配分をかなりタイトに行ったため，執行部が委員会の時間をとることが難しかった。そのため，土曜日（10 日）午後 4 時から循環器科の藤井先生に腫瘍症例に関連する循環器疾患の講義をお願いし，その間に執行部が抜け委員会・部会を行うよう時間調整をしたはずだったが，2 種講習会の講師などの時間と重なり，出席できない先生方が多くいた。この様なことがないように，次回は委員会の時間を設けられるよう時間調整していく。

1、事業報告

1) 会員数（2010 年 3 月 31 日現在） : 会長

会員総数：1615 名

正会員：1537 名 準会員：77 名 名誉会員：1 名

賛助会員：13 社

2) 第 1 回・2 回学会報告 : 会長

第 1 回学会

正会員：382 名 準会員：10 名 非会員：64 名 学生：62 名

講師他：76 名 関係者：29 名 参加者合計：623 名

第 2 回学会

正会員：366 名 準会員：16 名 非会員：59 名 学生：8 名

講師他：69 名 関係者：26 名 参加者合計：544 名

2、各種委員会・部会報告

< 学会運営に関する委員会 >

1) 学会企画委員会：川村委員長

第4回がん学会について

- ・2011年1月29日(土), 1月30日(日)に開催予定としている。会場は大阪の現在のところ。大阪の会場は狭いため, 再来年1月の学会は他の施設で開催する予定である。現在2~3箇所, 候補施設がある。
- ・特別講師については今のところ予定していない
- ・質問:

廉澤先生 次回, 2011年1月29日, 30日の学会は獣医麻酔外科学会の開催日と同じである。2010年1月の理事会で日程の変更を希望したが, なぜ同じ日程なのか?

信田会長 日程の調整を進めたが, 会場の予約の関係上, 同じ日となってしまった。

2) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

- ・雑誌の第2号は今月末までに電子ジャーナル化し, 掲載することがほぼ確定した
- ・現在までに投稿された文献は, 年内に発行可能となる予定
- ・前回の理事会・評議委員会で約束した年間4冊の雑誌発行も可能である
- ・創刊号は紙の雑誌として発行したが, 電子ジャーナル化した
- ・海外からのアクセスもきている

3) 認定委員会：石田委員長

・認定医2種試験：2010年7月11日(日)153名受験予定(現在までの取得者198名)

・認定医1種2次試験：2010年10月3日(日)28名受験予定(現在までの取得者)

・変更事項：1種2次試験について, 今回から試験室を4部屋づくり, デジタル問題を4題にふやす。前回から採用しているが, 必ず答えなければならない問題を作り, 回答がなかった場合はその時点で試験終了とする。

・認定医更新制度について, 更新条件を科す議論をすすめている。条件として論文を提出することを追加する。その細部をつめ, 次回の認定委員会で承認を取り理事会にかける予定

・2種講習内容を全て網羅した受験対策用テキストを作る企画がある。認定委員会です承が得られれば, 執筆者等をつめていく。内容については2種試験のガイドラインに基づき, すでにタイトルができていますのでそれにそって進めていく。

・テキストの監修はがん学会とし, 監修料として売り上げの数%を支払い, 執筆者にも執筆料を支払う。(会長)

4) 専門医制度実行委員会：南委員長

- ・認定委員に1名, 北海道大学の細谷先生を加える

- ・専門医の方向性を考える．1年後の学会で半日枠を作り，アジアでの専門医としてシンポジウムを行う
 - ・そのシンポジウムでは，アメリカの認定医を取得している先生の意見を参考にし，専門医の研修をする施設の検討や，誰のもとで研修すべきか，また研修に必要な症例数がある施設なのか，などを討論する．
- 5) JONCOL 編集委員会：児玉委員長
- ・現在9号の編集集中で，発行は9月1日となった．同時に10号の編集も開始した
 - ・症例報告の英文タイトルのアドバイザーとして，石田卓夫先生に依頼し快諾していただいた

< 学術部会 >

新規事項について：会長

- ・第4回がん学会の内容について，企画委員会から提案があった．今回，土曜日に外科・内科の症例検討会が行われたが，今後はその企画を企画委員会ではなく，各部会で内容決定してはどうかとのこと．内容には，全ての企画・演者・座長・その他の決定が含まれており，それらを各部会で検討していく．現在これらの審議を行っており，理事会で認められれば次回以降より実行する．

1) 外科療法部会：廉澤部会長 次回の2011年1月29日，30日の学会は，麻酔外科学会と同じ日である．

- ・会員25名
- ・ガイドラインの作成について（生川先生）
 - Q&A方式で作成する．まずはたたき台として犬の乳腺腫瘍に関して作成し，それに準じてその他の腫瘍も作っていく．ここでは部会で承認が得られている．
 - （信田会長より追加）このテキストは診断治療指針として外科でまとめるものであり，教科書的なものとは意味合いが違う．
 - また，「ガイドライン」という名前に関しても，例えば裁判などで問題になる可能性もあるため，今後検討していく．
- ・学会プログラムについて
 - 学会プログラムの中で外科部会の枠が欲しい．外科部会参加者の統一見解である．
 - 内容は学会のメインテーマに合わせ，ビデオセッションを含めたもので作る．テーマが出なければその他のものでおこなう．
- ・回顧的研究について
 - 外科部会メンバーからどのような研究がしたいか，または可能かを話し合っていく．
 - とりあえず研究は行う方向で決定した．

2) 放射線療法部会：圓尾部会長

- ・会員 19 名
- ・放射線治療施設の現状についての報告
- ・勉強会について

前回は講師が決まっておらずやり直しとなった。今回は細谷先生に講師をお願いし、来年の夏に会場を借りて行う予定。

3) 内科療法部会：下田部会長

- ・会員 4 名
- ・ガイドラインの作成について

2 種認定医試験に対応する教科書的なもの作成する予定。診断基準，内科療法，治療効果判定基準，副作用のグレード分類の 4 つについて，ワーキンググループを立ち上げて作業している途中である。認定委員会の作成した教科書とどのようにリンクしていくか話し合う。

信田会長 外科部会でも話したが，今の内容は教科書的なテキストと診断治療指針としてのガイドラインと混同しているので，内科部会で話し合いすり分けて欲しい。テキストについては認定委員会が中心となってまとめていく。診断治療指針は学会として出すテキストではないので理解していただきたい。

下田部会長 テキスト作成に各部会が関わってもいいかと思う。

信田会長 それはもっともである。しかし，テキスト作成の中心になるのは石田先生の認定委員会である。

- ・大会について

メインテーマのシンポジウムにおいて，内科に関しての内容，講演者の決定などを内科部で関わりたい。また，昨日の内科の症例検討会について，1 種認定医試験に対応する，とするには内容がお粗末ではないか。内容を内科部会から出すなり変更するなり，大会の内科部分は内科部が関わりたい。企画委員会に各部会の委員長なりが参加しないと，後から要望が増えるのではないか。

信田会長 企画委員会からも違う側面から同じような要望がでていたので，両者共同で作業するのはいいと考えている。しかし，責任分担を明確にしたい。そのためには土曜日の内科症例検討については内科部会で全て原案を練っていただく。それは日曜日のメインテーマと同じでなくてもよい。日曜日のシンポジウムに関しては企画委員会で検討する。この様にとりまとめを明確にして，責任分担をしていく。

下田部会長 企画委員会が企画する内容と各部会が企画する内容はリンクしなくても良いのか。

信田会長 内容は同じでなくてもよい。今までも同様である。来年 1 月の学会が無理

なら 7 月の学会からこの案で行う。基本方針は以上のように会長から提案する。

4) 臨床統計部会：小林部会長

- ・ 会員 9 名，今回は 9 名中 3 名が欠席
- ・ 過去に評議会に提出した案件についてのフィードバックはどうなっているのか。その答えが無ければ先に進めない

信田会長 その要望の要点を説明してください

小林部会長 臨床統計部会という部会の名前を臨床研究部会に改名したい

信田会長 代わっているものだと思っていたが、抜けていたのかもしれない。審議事項ではないがここで承認をとる・・・承認された

小林部会長 その他には、乳がんの化学療法の効果をホームページ上で募集しているが、その引継ぎをしたい。また、学会にて臨床研究発表を実施し、優秀な発表にアワードをおくりたい。これらの細かい内容を議事録で出しているがそれはいつ、どのように承認されるのか。

信田会長 審議事項その他のところで各部会から再度案を提出してもらい、審議の結果賛同されれば総会に出す。名称を臨床研究部会に変更希望 総会で承認を図る

5) 国際情報部会：辻本部会長

- ・ 会員 5 名
- ・ 今大会では部会は開催しなかった。全てメールでやりとりをする方向になっている。
- ・ 前回の内容（国際的な学会との連携、その学会情報の報告）から変更はない。

信田会長 審議事項の進行については、まず各部会から議事録を提出してもらい、それを事務局がとりまとめをする。そしてそれらを次回の理事会で審議し、審議事項として総会に提出する。また、予算執行においては、内容により審議なしで執行部が確認する。これはすでに理事会で承認されている。

南先生 自分の部以外の部会で審議した議事録について、それらも検討しないと各部会のすり合わせができないので、閲覧できるようにしたい。

信田会長 各部会の議事録は事務局でとりまとめて、ファイル化して要望があれば配布する。

6) 病理部会：山上部会長

- ・ 会員 12 名
- ・ 2 名新たに会員が増えた。1 名はコマーシャルラボの先生（名前発表せず）で、国内のコマーシャルラボでの診断の平坦化を行っていく。もう 1 名は開業の先生（名前発表せ

ず)。

- ・ 発表症例に対する病理のセカンドオピニオンについて要望があったが、基本的には本来は病理検査を依頼した臨床の先生が、その病理医とはなしてもらうのが大筋である。どの病理検査の診断書にも、検査した症例についてこの診断に則って発表することがあれば連絡をしてほしいと書かれているが、現実にはほとんどの発表症例について病理医への報告がなされていない。事務局で、症例発表の要望を受けた場合は、必ず病理医に一報するよう要請して欲しい。そうすることにより病理部会でセカンドオピニオンの検査をする必要がなくなると考えている。
- ・ それに平行して、会員の病理の先生の病理症例に対するセカンドオピニオンについても希望があった。しかし、部会の先生方はコマーシャルラボの先生が多いため、プライオリティ、報酬の面で問題があるため、学会全体としての病理のコンサルテーションも当面は見送る方針である。
- ・ 信田会長 部員の変更は必ず理事会に届けること。また、コマーシャルラボへの先生方への報告については、ホームページの演題募集のところで一文を記入するようにする。

3, 獣医内科学アカデミーの協賛に関して

信田会長 昨年の第 1 回学会には、時間の都合により、その前の執行部の藤田会長の状況を統合しようということであった。今回から学会としてきちんと対応しようと動いていた。内科学アカデミーの説明会があり、渉外・広報担当の杉山先生に出席していただいた。

杉山先生 6月16日に内科学アカデミーの説明会に出席し、正式に執行部からプログラムの協賛について依頼を受けた。その要点を説明する。

日程は2011年3月11日(金)~13日(日)で、会場は横浜みなとみらい地区のパシフィコ横浜にて決行される。

がん学会には会場代、広告料の費用負担は一切無く、収益の分配も無い。

演者に対する報酬はアカデミーの規定に則り、アカデミー側から演者に支払われる。

プログラムに参加することで、がん学会会員がアカデミーに参加する際、会員割引が受けられる。

プログラムの企画はがん学会に一任する。しかし、その他の学会の企画とかぶる場合には、アカデミー側の執行部が介入する可能性がある。

プログラムには大掛かりなシンポジウム、教育講演、研究発表、症例検討などがあるが、それらの企画もがん学会に一任する。申込み多数の場合は時間や会場に制約が出る場合がある。

要点については以上である。その他の細かい内容が知りたい場合は、杉山までお知らせください。なお、第一次参加申込み締め切りが7月20日と目前に迫っ

ているため、早急な対応が必要である。

信田会長 審議事項に挙げたが、学会としてはアカデミー参加の小企画委員会を、本学会の企画委員会とは別に設けたい。そこで責任分担を別け、若手・中堅の先生方に企画していただく。アカデミーの参加については、研究会時代からの審議事項で承認されていることなので、協賛すべきでないという、否定的な意見が無い限り研究会に引き続き協賛していく方針である。

4, その他 特になし

【審議事項】

1, 2009 年度日本獣医がん学会収支決算報告：井上前会計監事 **別紙**

信田会長 年会費が 300 万と少ないのは、4 月以降に振り込まれた数値であり、年度をまたいでいるため、繰越金の中に含まれている。

2, 2009 年度日本獣医がん学会：会計監査報告と承認：堀前会計監査

堀先生 厳正なる対応がなされていることを確認した。尚、石田前会計監査から指摘があった、人件費の源泉徴収の件、印刷物の値段の妥当性についても確認した。以上である。

承認された

3, 2010 年度予算案の承認 **別紙**

信田会長 大きなところのみ確認していく。まず、収入については 3 月 31 日時点までの会員数で計算している。支出については、制作費が昨年度よりも額が少なくなっている。また、学会情報配信の項目が審議事項と絡むため、ここで報告と審議を行う。新しい事業として、遠方で学会参加が難しい会員に対して、メインシンポジウムを撮影しネット配信する企画がある。ネットを見る方にはある程度費用負担をしてもらう。これは収益目的ではなく会員に貢献するという形である。予算と内容について承認されれば、今回撮影したものを次回 1 月の学会と同時配信していく。いずれはシンポジウム以外の部分も配信していく。現在 200 万円計上してある。これらについて、またその他の部分で質問等ありますか？

藤田先生 学会雑誌の支出のところ、編集管理費として 60 万円、一号当たり 15 万円となっている。しかし、雑誌の発行が滞った場合、年間の人件費が足りなくなるかのうせいがあるため、「一号当たり」というのをなくして、年間 60 万円としたい。

承認された

質問事項 情報配信については、リアルタイムではやらないのか？（山上先生）

信田会長 現在は録画したものを予定している。細かな事案は検討中である。この半年は録画したものを使用する予定だが、再度 1 月の理事会を經由して承認されるようにする予定である。

質問事項 会場の費用について、500 万円から 700 万円に上がったのは、大阪の会場を変

えるとか増やすということでしょうか？（廉澤先生）

信田会長 現在の会場が狭いのでかえていく。額を出せば大きな会場も押さえられるが、2年前から予約しないといけない。これについては現在、広島川の川野先生が会場をおさえるために奮闘している。取り敢えずの予算案としてこの額を計上させていただきます。

以上、来年度予算案について承認いただいたということで総会に諮る。

4、第4回日本獣医がん学会開催の承認：2011年1月29日、30日

承認された

5、JCVIM協賛企画小委員会の設置と委員長の選出

信田会長 会長案としては企画委員長として、渉外・広報担当の杉山先生にお願いした。また、委員長としての組閣案を検討するようお願いしたので、その概要を説明していただく。

杉山先生 幅広く委員を募った。その結果、開業医代表として評議員の浅葉先生、一般の2次診療施設の代表として日本高度医療センターの市川先生に、すでに快諾をいただいた。企画を決める際は企画委員や執行部と調整しながら決めていくが、先生方からも広く意見・アイデアをいただきたいと考えている。

信田会長 埼玉のがんセンターの先生にもご依頼させていただいている。この内容で、小委員会の設置と委員長の承認をいただければ、杉山先生に一任して内科学アカデミーに報告していく。承認いただけるでしょうか？

承認された

6、その他

質問事項 部会ごとの症例発表の枠は作っていただけるのでしょうか？（南先生）

信田会長 土曜の午前・午後で枠を作っていく。日曜で枠を作るのは1月の学会は無理だと思うが、7月の麻布の学会では可能である。

質問事項 部会ごとの時間の一般講演の発表は学会のオフィシャルの発表となるか？その場合は他の学会で発表したものは受けつけないということでしょうか？（下田先生）

信田会長 そのとおりです。

以上を持って理事会・評議会を終了する

文責：保坂 創史